

視覚障害

その研究と情報



183号

2003
January

特集1 ● ————— 1

世界の視覚障害者リーダー大いに語る ◎指田 忠司
ベクト・リンドクビスト／キキ・ノードストローム

特集2 ● ————— 24

障害者権利条約の推進と

新たな「十年」に向けた行動を ◎大滝 憲一
——「アジア太平洋障害者の十年」

最終年記念大阪フォーラムとESCAP会議レポート

ルポ ● ————— 33

視覚障害者からアジア、そして世界へアピール ◎加藤 俊和
—— アジア太平洋ブラインドサミット会議の成果と意義

シリーズ働く ● ————— 39

東京ワークショップ訪問記 ◎橋本 宗明

今を走る ● ————— 46

安田章代さん——子育て奮戦記 ◎山口 露風

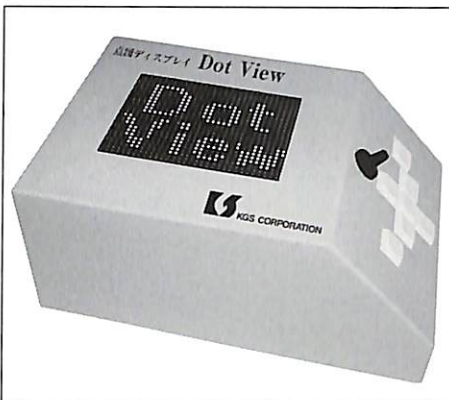
■点図ディスプレイ

図形情報を点図の形でリアルタイムに表示。
まったく新しい触覚の世界をKGSが実現しました!

全世界が
注目!

新登場

ドットビュー (Dot View DV-1) ¥648,000 (税別)



パソコン上のあらゆる画面情報を瞬時に表示し、認識活用できる新触覚時代創造ツールです。「ドットビュー (Dot View DV-1)」は図形情報を点図の形でリアルタイムに表示できるポータブルな点図ディスプレイです。24ドット×32ドットの表示部は高速にリフレッシュできるので、スクロールや拡大/縮小などの操作も思いのままです。静止画、ANK、漢字はもちろん動画、点字も含めたマルチ表示があらゆる場面で自由自在です。点図使用者の図形情報アクセスに新たな可能性を開きます。

パソコンの
操作支援ツールとして

図形学習
ツールとして

墨字 (一般文字) 学習
ツールとして

画像触覚
ツールとして

アミューズメント
分野への応用



文章表示画面例



図形表示画面例



Web情報表示画面例

■ブレイルノート (点字ディスプレイ)

KGSの点字技術を集大成したスマートかつハイクラスな点字ディスプレイ

ブレイルファミリー
対応機種

ブレイルノート 46X

BN46X ¥449,000 (非課税)

新製品



- 点字ディスプレイ「ブレイルノート」は、点字利用者のパソコン利用の強力な支援ツールとして、正確でリアルタイムな点字情報を伝達する必携コミュニケーションツールです。新開発:ブレイルノート46Xは究極の点字ディスプレイとして、さまざまな便利機能を付加した、コストパフォーマンスに優れた、スマートでコンパクトな世界最先端の点字ディスプレイです。
- 点字文書の読み書きや校正はもちろん、時計、アラーム、カウントダウン・タイマー、ストップウォッチ、カレンダー、電卓など、日常生活の中で便利に使える機能やスケジュール帳、表の集計機能など、身の回りの情報管理に役立つ機能を内蔵、これらの機能は、点字ディスプレイ機能と平行して動作しますので、本体内部の文書を読みながら、パソコンを操作することが可能です。



Braille Note 460

¥449,000

さらにお求めやすくなりました。

新価格 ¥349,000

■ブレイルメモ®

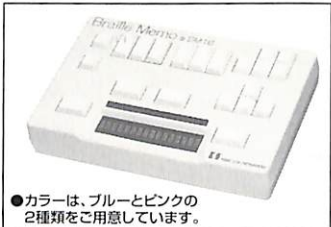
あらゆるシーンで活躍する点字利用者の必携情報機器

ブレイルファミリー
対応機種

Braille Memo BM16

Ver1.2.1 ¥198,000 (非課税)

片時も手放せないほど重要な存在となったブレイルメモは、昔ながらの不便な点字利用環境を根底から覆すほどのインパクトを持った新しい情報機器として、点字利用の利便性、有効性を再認識させ、点字文化をダイナミックに継承して行く最新便利ツールとして、着実に浸透、普及し始めました。ブレイルメモ16は8点16マスの点字表示部と各種入力キーをそなえた、バッテリー内蔵の小型軽量の携帯仕様で、いつでも、どこでも手軽にメモを取ったり、時計、電卓、カレンダーなど便利なアクセサリ機能を利用して、日常必要な身の回りの情報をしっかりと管理、あらゆる場面で、情報の有効活用ができる必携ツールです。



●カラーは、ブルーとピンクの2種類をご用意しています。

ケー・ジー・エス株式会社
KGS CORPORATION

〒355-0321 埼玉県比企郡小川町小川1004 TEL.0493-72-7311 (代) FAX.0493-72-7337

E-mail: info@kgs-jpn.co.jp URL: http://www.kgs-jpn.co.jp

●掲載製品についてのお問い合わせは弊社営業部まで ※製品の仕様、規格及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

新たな十年へ 受け継がれる志

—アジア太平洋地域のリーダーが集結した国際会議

アジア太平洋ブラインドサミット会議

新たな障害者の十年に向けた視覚障害者の挑戦

Asia Pacific Blind Summit Conference
Challenging Blind People Towards the New Decade

主催 社会福祉法人日本盲人福祉委員会・世界盲人連合アジア太平洋地域協議会 (WBU-AP)

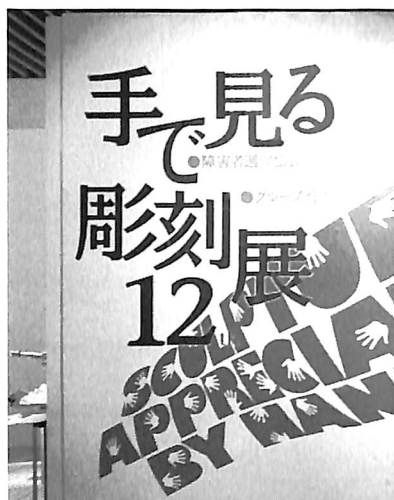


「アジア太平洋障害者の十年」の最終年にあたる2002年の10月、19日(土)・20日(日)2日間にわたり、大阪で「アジア太平洋ブラインドサミット会議」が開催されました。この会議では視覚障害者にとって重要課題である差別禁止および人権擁護、職業問題を中心に、活発な意見・情報交換が繰り広げられました。

会議2日目には開会式に引き続き、岩橋武夫賞贈呈式が行なわれました。この賞は一生を愛盲運動に捧げた岩橋武夫の功績を讃えるもので、1975年の創設以来アジアを中心に視覚障害福祉分野で貢献している方々に贈られています。これまでの受賞者は皆それぞれ長年にわたる努力の積み重ねにより大きな成果を収めてきた方です。今回は世界盲人連合アジア太平洋地域協議会(WBU-AP)事務局長のアイバン・ホ・タック・チョイ氏(マレーシア)が受賞され、日本ライトハウス会長岩橋明子氏の手から感謝とともに贈呈されました。

膨らむイメージ 「手で見る彫刻展」

——全盲ドイツ人女性による作品鑑賞



「グループ蒼土 手で見る彫刻展」(障害者週間協賛企画)が新宿パークタワー内「ギャラリー・1」において2002年12月3日(火)から15日(日)まで開催され、12回目となる今回は5名の彫刻家による作品約20点が会場を飾りました。

この彫刻展では、視覚障害者が手で作品に心ゆくまで触れ、鑑賞することができます。木やブロンズ、テラコッタなど、素材の異なる作品個々の肌触りを直に確かめたり、鋭い突起、滑らかな曲線といった様々な造形の刺激を

掌に受けたりできる—これは視覚障害者にとっても晴眼者にとっても心満たされる体験でしょう。個々の作品が展示された台上には、作品名と作者名の記された点字シールも貼られています。

全盲のアンゲリーカ・ドゥックヴィッツさんは、小児科医の秘書として国立ロベルト・コッホ研究所に勤務、ベルリン市内に住んでいます。会期中ちょうど来日しており、友人と一緒に本展へ足を運びました。終始笑顔のドゥックヴィッツさんは、友人の説明に耳を傾けつつ、1つ1つの作品に掌をあて、指を滑らせ、時に感嘆の声を挙げていました。殊に魚(オコゼ)をモチーフとした作品に心惹かれたとのこと。 「動物が大好き」というドゥックヴィッツさんは、彫刻作品から「魚の姿をはっきりとイメージすることができた」そうです。

「海物語」と題されたその作品の作者である桑山賀行さんによれば、「彫刻は本物を作ることではありません。いかに本物“らしく”作れるかが肝要なのです」。なるほど木彫の「魚」は、おそらく本物以上に飛び出た眼と大きな口を持ち、グロテスクさが強調された姿です。それだからこそ触れた手にも生き活きとした「魚」の姿が伝わるので

しょう。

またこんな場面も。桑山さんが「丘」という木彫作品をひっくり返し、彫り抜かれた内部をドウックヴィッツさんに向けると、つんと刺激のある木の香が鼻を突きました。虫除け効果で知られる楠を彫った作品との説明に納得のドウックヴィッツさん。本展ならではの作品鑑賞でした。



(右) 作者の桑山さんと
ドウックヴィッツさん

(文・撮影／金築由紀)

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

—— 次号（2003年 3 月 No.184）予告 ——

特集 80周年を迎えた日本ライトハウス…… 高橋秀治

シリーズ働く 視覚障害者の授産施設 その現状と課題…… 工藤正一

今を走る 高橋玲子さん…… 森川美和

2002年度 視覚障害情報処理技術の最新動向…… 長岡英司ほか

視 覚 障 害 —その研究と情報—

2003年1月 No.183

年間購読料 4,200円（送料とも）

発行日 2003年1月1日

編集人 高橋 実

（連絡先）社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター

〒167-0043 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号 Keiビル

電話（03）5310-5051（代） FAX（03）5310-5053

<http://www.siencenter.or.jp/>

振替口座 00160-4-16103

発行人 障害者団体定期刊行物協会

〒157-0073 東京都世田谷区砧 6-26-21

印刷所 株式会社 大活字

〒101-0061 東京都千代田区三崎町 1-1-9 三崎町ビル 3 階

電話（03）5282-4361 FAX（03）5282-4362